ビッグキャブレターキット VM26　取扱説明書

（弊社製スーパーヘッド 4VALVE 取り付け車）

製品番号	03-05-0096（キャブレターキット） 03-02-0009　（マニホールドキット）

適応車種	'12 KSR110 (KL110CBF) / JKAKL110CCDA00058 ～
	'13 KSR110 (KL110DDF) / KL110D-A57002 ～
	'14 KSR PRO(KL110EEF) / JKAKL110EEDA88121 ～

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
◎ KSR110 及び KSR PRO は当製品を取り付けると二次空気供給装置が作動しなくなります。
◎'11､'12 KSR110 フューエルエバポレーティングシステム装備車両は当製品を取り付けると、このシステムは作動しなくなります。
◎当製品は、弊社製スーパーヘッド 4VALVE 装着車両専用です。ノーマルヘッド及びスーパーヘッド +R 取り付け車両には使用出来ませんのでご注意下さい。又、KSR PRO のノーマルクラッチは対応しておりません。
◎エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。
◎キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。
個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。
◎当製品はクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道で使用する場合は道路運送車両法の保安基準を充たし遵守運転を心掛けて下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発 等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容

番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	キャブレター ASSY.	1	03-03-0321
※2	インテークマニホールド	1	00-00-1497
※3	インテークマニホールドアダプター	1	00-00-1505
※4	インレットパイプガスケット	1	00-00-0298（2ケ入り）
※5	インシュレーター	1	00-03-0210
※6	インシュレーターバンド	1	00-00-0050
※7	インレットパイプガスケット	1	00-03-0007（2ケ入り）
※8	ソケットキャップスクリュー 6x20	4	00-00-0721（5ケ入り）
※9	ソケットキャップスクリュー 6x15	2	00-00-0718（5ケ入り）
10	エアフィルター	1	03-01-1064
11	メインジェット #175	1	00-03-0289
12	スロットルケーブル	1	00-00-1524
13	フューエルホース 500mm	1	00-03-0203
14	6角棒レンチ	1	――――――

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#190
パイロットジェット	#22.5
ジェットニードル	5E75
クリップポジション	3段目
スロットルバルブ	#1.5
エアスクリューオープニング	1回転±1/4

※印はマニホールドキットの商品内容を示しています。
∴リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
∴リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる
場合があります。使用につきましては問題ございません。
予めご了承下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

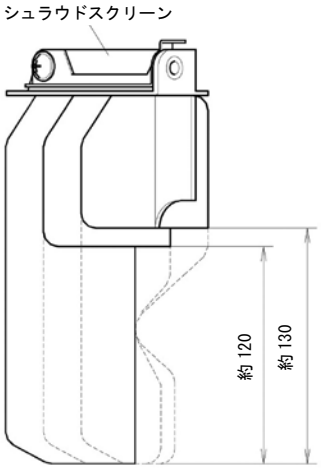
○フューエルコックを OFF にする。
※必ず水平な場所で確実に車両を安定させながら作業を行う事。
※必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に作業を行う事。

◎外装の取り外し

○3本のボルトを外し、右のシュラウドを取り外す。
'11、'12 KSR110 フューエルエバポレーティングシステム装備車両の場合は左右のシュラウドを取り外す。

○1本のボルトを外し、シュラウドスクリーンを取り外す。

○シュラウドスクリーンを図の様に加工する。



■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◎ノーマルキャブレターの取り外し

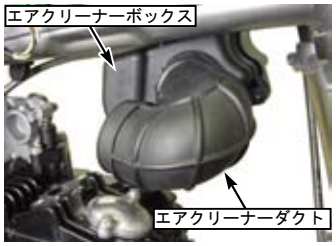
○キャブレターのドレンコックを開いてフロートチャンバー内のガソリンを抜き取る。
○キャブレタートップを取り外し、スロットルバルブを抜き取る。チョークケーブルの接続を外す。スロットルバルブ、キャブレタートップをスロットルケーブルから取り外しておく。

○キャブレターからフューエルホースの接続を外す。
エアクリーナダクトのクランプスクリューを緩める。

○マニホールドのホースの接続を外す。
○'11、'12 KSR110 フューエルエバポレーティングシステム装備車両の場合はシート、フューエルタンクのピン / ワッシャを取り外し、フューエルタンク裏側のホース 2 本の接続を外す。

○ 2 本のボルトを取り外し、インシュレーターとマニホールド / キャブレターをシリンダーヘッドから取り外す。
エアクリーナダクトからキャブレターの接続を外す。
この際、キャブレターヒーター装備車両はその配線の接続を外す。

○エアクリーナボックスからエアクリーナダクトを取り外す。



◎スロットルケーブルの交換

○アジャスターを緩めておく。
スクリュー 2 本を取り外し、スロットルハウジングを分解する。

○スロットルリールからインナーケーブルの接続を外し、スロットルハウジングからノーマルのスロットケーブルを取り外す。
○ノーマルスロットケーブルを車両から取り外す。
ノーマルのスロットルケーブルのブーツをキャブレター側から取り外す。

○付属のスロットルケーブルからブーツを取り外し、ノーマルのスロットルケーブルのブーツを取り付ける。
○付属のスロットルケーブルのインナーケーブルをスロットルリールに接続し、スロットルハウジングにセットしつつ、アジャスターを取り付ける。
○スロットルハウジングをスクリュー 2 本でハンドルに取り付ける。
○スロットルケーブルをキャブレターまでワイアリングする。
○付属のキャブレターのトップキャップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取り、スロットルケーブルに取り付ける。

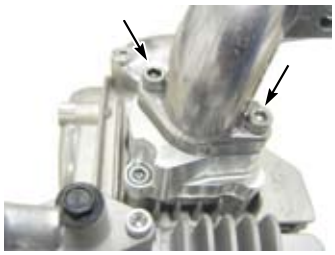
◎キャブレターの取り付け

○ガスケットとマニホールドアダプターをソケットキャップスクリュー 6x20 2 本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

○ガスケットとマニホールドをソケットキャップスクリュー 6x20 2 本にてマニホールドアダプターに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



○インシュレーターをインレットパイプにソケットキャップスクリュー 6x15 2 本にて取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

○キャブレターをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定する。
○スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。
○スロットルグリップ部で 5mm 程度の遊びが出来る様にスロットルケーブルのアジャスターを調整する。
スロットルを数回スナップさせると共にハンドルを左右にきり、スロットルバルブの開閉状態を確認する。
○キャブレターにエアフィルターをはめ込み、バンドを締め付けて固定する。
○クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行う。

◎外装の取り付け

○'11、'12 KSR110 フューエルエバポレーティングシステム装備車両の場合は、フューエルタンクをフレームに取り付け、ワッシャ / ピンを取り付ける。
シートを取り付ける。
※フューエルタンク裏側の 2 本のホースは接続しない事。
○加工したシュラウドスクリーンをボルト 1 本で取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

○シュラウドを 3 本のボルトで取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.53kgf・m）

◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

キャブレターセッティング要領

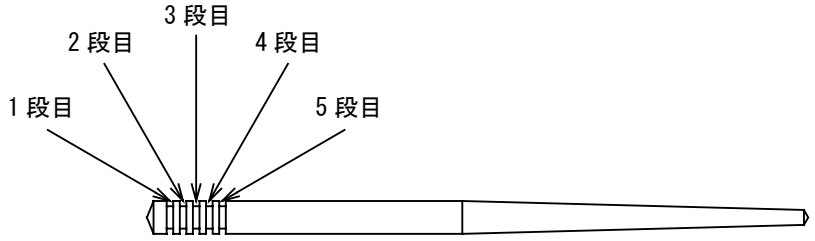
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの 2 つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度 1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、E リングを入れる溝の段数で調整出来ます。E リング位置が 1 段目から 5 段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度 3/4-4/4)

・この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
・仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○スロージェット / パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

・エアスクリューの戻し量 3.0 回転以上の場合は、スロージェット / パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、スロージェット / パイロットジェットを大きくして下さい。
パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、スロージェット / パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
・排気が濃く排気音が重い場合、スロージェット / パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
・スロージェット / パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドリング時)
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（1.5 回転）に合わせ、左右に 1/4-1/2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp